

さようなら原発 越谷連絡会

会報 No.82

●発行 さようなら原発越谷連絡会 編集委員会

●連絡先 〒343-0023 越谷市東越谷 1-5-17 TEL&FAX 048-962-8052 <http://sayonarakoshi.jimdo.com/>

●さようなら原発越谷連絡会は、第3金曜日に、越谷駅前で脱原発のための集会とパレードを行っています。

●第3金曜日の越谷独自行動(3金脱原発越谷行動)は、越谷駅東口駅前広場に18時集合・開始で、どなたでも発言自由のアピールタイム。歌や楽器でのアピールもOKです。こののち、越谷駅

までもどる周回パレードをしています。誰でも、どなたでも参加していただける集会・パレードです。ぜひ、ご参加ください。

●お問い合わせは080-1229-3661(飛山)/080-5670-7117(増田)/090-4010-1334(石山)まで

8月24日、たんぼぼ舎が主催する東海村バスツアーで、東海第二原発をはじめとする核関連施設の視察と、「東海第二再稼働反対いばらき大集会」に参加しました。言わずもがな越谷市は東海第二原発から90キロしか離れていません。さらに、万が一事故が起きた場合には、東海第二から30キロ圏内にある水戸市民約5800人の広域避難を受け入れる協定を結んでいます。以上ことから、2018年9月には越谷市議会で東海第二原発再稼働反対の国への意見書が可決されるなど、私も常日頃から再稼働反対の意思表示をしてはいましたが、現地をこの目で見るのは今回が初めてです。今回越谷からは7名が参加。うち私と同世代は、大田ちひろさんとシネケ綾乃さん。ともに子育て真っ最中です。私たちが生まれた頃から活動しているたんぼぼ舎の皆さんとお会いするのはほとんど初めてで、緊張しながらバスに乗り込みました。だんだんと田んぼが広がるのどかな風景になり、「原電前T字路」といった交差点の表記が見え、そこから先は研究施設や核関連施設、原発作業員の寮や団地などが並び、ああ、東海村に来たなという実感が湧いてきました。バスを降り、ポイントごとに説明をしてくださったのは、越谷の大集会でもスピーチしてくださった、たんぼぼ舎の志田さん。東海村には東海第二原発のほか、1999年に起きたJCO臨界事故の現場や高レベル放射性廃液の再処理施設などがあります。再処理施設には高濃度放射廃液がドラム缶で何十万本も貯蔵され、冷却が続けられているそうで、万が一事故が起きたら大変なことになります。脅威は東海第二原発だけではないのです。また、JCO臨界事故の現場周辺にも行きました。事故があった施設のすぐそばで自動車工場を営んでいた故・大泉さんご夫妻の健康被害裁判のお話を聞いて、原発事故が人間にもたらす苦しみを改めて考えさせられました。

志田さんがお話しくださったエピソードの一つで、東海村のある老

STOP! 東海第二原発

「東海村バスツアー」&「いばらき大集会」



再稼働反対の大集会のあと、大通りをデモ。おなじみのさようなら原発越谷の旗「東海第二原発を廃炉に！」。

人ホームでは、入居時に「原発事故が起きても、避難させることはできない」ことを説明し、了解を得た上で入居してもらっている。というお話がありました。「その老人ホームを運営する会社では村の何か所かに、再稼働反対の広告看板を掲示しているので是非それを見てほしい」とのこと。しかし、今回なぜかその看板が外されており見ることができませんでしたが、なんと悲しい話だろーっと思えました。人を人とも思わない原発再稼働を許さないと心に誓いました。東海村核施設を一通り外から見学し、水戸市で行われた再稼働反対の大集会に参加。脱原発をめざす首長会議から村上達也元・東海村村長、宮嶋謙かすみがうら市長が力強く原発反対を訴えていたことが心に残りました。我が越谷市長にも、脱原発をはっきりと訴えてもらいたいものです。最後に水戸市街地を駅までデモ行進をしてアピール。非常に有意義なバスツアーでした。(山田裕子)

◎自主上映会を開催します。

『標的の村』『沖縄スパイ戦史』の三上智恵監督最新作

戦雲

いくさふむ

「国防」をうたい棄民亡国へ突き進む人々へ
島々から平和への切なる祈りをこめて

沖縄本島をはじめ、南西諸島の島々をめぐり、2015年から8年かけて取材を行ったドキュメンタリー。日米政府主導で戦力配備が進む沖縄・南西諸島と、島の暮らしや祭りの様子を描き、メディアが報じることのないまま進められる国防計画の恐ろしさを解き明かしていく。

上映時間 132分 製作 2024年



監督 三上智恵 / 語り 山里節子 / プロデューサー 橋本佳子 / イラスト 山内若菜 / 音楽 勝井祐二

11/2 土

越谷市中央市民会館劇場

13:30 開場
14:00 上映開始

◎主催：「戦雲」上映実行委員会

今からでも遅くはない。
共に目撃者になり、
今という歴史を背負う
当事者になってほしい。
三上智恵

3金集会の集合場所は越谷駅東口駅前広場。午後6時。オープングライブ5時半。

次の「3金行動」は 10月18日/11月15日予定です。

「さようなら原発3金行動」はプラカードや楽器の持参大歓迎。どなたでも参加できます。越谷駅東口駅前広場に午後6時集合。途中参加でも大丈夫です。仕事帰りに合流も大歓迎!

9.16 さようなら原発全国集会レポート in 東京・代々木公園



代代木公園野外ステージ上で訴える「東海第二原発運転差止訴訟原告団」の人々。

「命をつなぐ地球環境を 9・16 さようなら原発全国集会」が9月16日、代々木公園で開かれました。

「女川原発の再稼働を許さない! みやぎアクション」の多々良哲さんは「安全対策に問題があるとして、9月に予定していた2号機の再稼働を11月に延期した。福島第一原発と同じ沸騰水型原子炉で、3・11被災原発再稼働としては初。絶対阻止しなければならぬ」と訴えました。

東海第二原発運転差止訴訟原告団は、防波堤の施工不良について「内部告発がなければわからなかった」と日本原電の隠蔽体質を批判しました。

新潟平和運動センターの有田純也さんは柏崎刈羽原発の再稼働の動きに対して、今秋直接請求運動を始めると宣言。このほか、「これ以上海を汚すな! 市民会議」「核の中間貯蔵施設はいらない! 下北の会」「3・11甲状腺がん子ども支援ネットワーク」等の仲間が発言しました。

集会参加者は5000名。越谷から6名が参加。集会後2コーズ分かれてデモ行進をしました。

(石山博)

越谷市議会に「核兵器禁止条約第3回締約国会議」へのオブザーバー参加を要請する請願を出しました。請願は、このニュース発送直前の9月18日に総務常任委員会で可決され、本会議でも通る見通しです。今後も市議会の姿勢、動向を注視していきましょう。

【請願第3号】核兵器の廃絶に向け被爆国として役割を果たすことを求める意見書の提出を求める件

《請願の要旨》

以下の内容の意見書を国に提出してください。

日本政府は、来年3月に開催予定の核兵器禁止条約第3回締約国会議にオブザーバーとして参加すること。

《請願の理由》

核兵器のない世界に向けた国際的な機運が高まっています。国会及び政府におかれてはこの機会を逃すことなく、核保有国と非核保有国の橋渡しに努めるなど主導的役割を果たすことを求められています。

核兵器禁止条約は2回の締約国会議を経て、核兵器の非人道性を再確認するとともに、核被害者援助など、条約の内容を実現する方策と具体的な手順や行動の方針が示されています。この会議には、核保有国やその同盟国の多くが参加していないことが大きな課題とされています。核保有国やその同盟国の多くが参加し議論がおこなわれることが、ますます重要です。

政府はこの間唯一の被爆国として、また福島原発による甚大な放射能被害への対応を含めて、様々な施策とアピールを発しており、その重さは世界各国に大きな影響を与えて来た実績があります。この様な評価を更にすすめるためにも、今もなお核兵器使用のリスクに世界が直面する中で、核兵器廃絶の実現に向け特別の役割と責任を負っていることから、要旨に記した項目を要請します。

地方自治法第124条の規定により、上記のとおり請願いたします。

◎さようなら原発越谷連絡会総会レポート

堀川夫妻の絵本『手紙 おかあさんへ』を読んで



帰宅困難区域解除の南相馬市に、昨年オープンした「おれたちの伝承館」があります。アートなどの手段で原発事故を「伝

達したく思いました。

昨年、浪江町を訪れた時私も同じ怒りを感じました。それは解体寸前の浪江小学校や、整地して真新しい駅・建物が作られていた光景です。思い出や笑顔が詰まったものではなく、今までそこにあったものをないことにしてしまおうとするような強引なやり方を腹立たしく思いました。

文夫さんは理不尽な帰還政策に腹の底から怒りが込み上げてきた、と書いています。

この絵本は愛犬「桃」の目線で、文は貴子さんと絵は文夫さんと家族・教子など19人で分担。二度とこのような事故が起きないように、そして忘れないで欲しいという気持ちを書き留めたかったのです。

一家は被災後車で静岡県富士市に避難。塾経営などで13年が過ぎました。その間にお母さんはうつになつて悩んだり、「桃」はガンになつて亡くなつてしまつたのです。生まれ育った浪江町は放射能汚染され、家は解体。思い出の品々やここで暮らした証が、あの黒いフレコンバッグに捨てられてしまつた時、小さな叫び声と共に涙を流した夫を見て、先祖からの歴史がここで終わる――。

文夫さんは理不尽な帰還政策に腹の底から怒りが込み上げてきた、と書いています。

昨年、浪江町を訪れた時私も同じ怒りを感じました。それは解体寸前の浪江小学校や、整地して真新しい駅・建物が作られていた光景です。思い出や笑顔が詰まったものではなく、今までそこにあったものをないことにしてしまおうとするような強引なやり方を腹立たしく思いました。



講演中の堀川夫妻(上)。講演後『手紙 おかあさんへ』にサインをいただいた(越谷中央市民会館5階2・3会議室)。

承し、この地に生きることを選んだ人々と協働して生まれる共感を次の世代に橋渡しすることを目指します、と広く支援を呼びかけているのです。(飛山ますみ)

第9回総会は「23年度活動総括」「決算」「24年度方針」「予算」「運営委員」が提案され、承認されました。

昨年5月31日「GX脱炭素電源法案」が成立し、日本は原発依存に明確に舵を切りました。原発再稼働新規増設、60年超え運転も認めるという驚くべき方針です。「福島事故はなかったかのような」政府や電力会社の傲慢さは必ずや自然に報復されるでしょう。

経産省は、東日本震災後止まっている女川、東海第二、柏崎刈羽原発の再稼働を目論んでいます。絶対に許してはなりません。今後も越谷連絡会は、皆さんと一緒に原発ゼロを目指して頑張りたいと思います。

2012年から行っている毎月第3金曜日の集会とデモも引き続き実施します。会費はみなさんの会費で運営されています。会費継続をお願いするとともに、会員でない方は新規会員になつて会を支えて下さい。講演会・総会参加者は51名でした。

(石山博)

総会では以下の決算額が承認されました

2023年度 予算決算額 (2023年4月1日～24年3月31日)

収入		2024年3月31日現在		備考
項目	予算額	決算額	比較増減	
1、会費	200,000	221,000	21,000	2000円×110人、1000円×1人
2、カンパ	44,514	55,508	10,994	3/2集會会場カンパ(27,460)、個人9人(28,048)
3、事業費	40,000	70,000	30,000	3/2集會会費負担金2万×2、前年度越谷連分3万
4、雑収入	1	0	▲1	郵貯利息
5、繰越金	115,485	115,485	0	
合計	400,000	461,993	61,993	

(参考)

2015年度より財政を安定させるため有料会員制を取っています。以下会員数の推移です。
2015年度61名/2016年度75名/2017年度91名/2018年度102名/2019年度103名/2020年度107名/2021年度117名/2022年度109名/2023年度119名
(会員の継続よろしくお願ひします。)

支出		2024年3月31日現在		備考
項目	予算額	決算額	比較増減	
1、講師謝礼	120,000	70,000	▲50,000	7/1渡辺講師謝礼、3・2集會講師謝礼
2、活動費	60,000	66,200	6,200	三金2500×12、8/26,11/18集會、2/20交通費補助
3、消耗品費	26,000	31,403	5,403	封筒、色上質紙、乾電池、宛名印字
4、備品費	20,000	0	▲20,000	
5、印刷費	40,000	27,840	▲12,160	会報印刷、発送報酬費
6、通信費	80,000	77,329	▲2,671	郵送料、振込手数料、新聞折込
7、負担金	20,000	15,000	▲5,000	宮城、井戸川、東海第2、汚染水、国民投票
8、会場費	20,000	10,600	▲9,400	総会、運営委員会費、駐車代
9、借家代	14,000	13,200	▲800	ロッカー大2、小1メールボックス借用
合計	400,000	311,572	▲88,428	

461,993円-311,572円=150,421円(現在残高)
残金150,421円は次年度に繰越します。